

令和3年度 放課後子ども教室 活動事例一覧

市町名	教室数	教室名	主な実施場所	対象学校区名	委託	委託団体名
近江八幡市	5	寺子屋 沖島	沖島小学校	沖島小学校		
		寺子屋 岡山	岡山小学校	岡山小学校		
		寺子屋 金田	金田コミュニティセンター	金田小学校		
		放課後学習「寺小屋安土」	安土小学校	安土小学校		
		寺子屋老蘇「こども学習教室」	老蘇小学校	老蘇小学校		
草津市	2	放課後自習広場	笠縫小学校	笠縫小学校		
		放課後子ども教室	志津小学校	志津小学校		
栗東市	2	葉山東ふれあい子ども広場	葉山東小学校 コミュニティセンター葉山東	葉山東小学校		
		治田西のびのび広場	治田西小学校	治田西小学校		
野洲市	6	中主地域子ども教室（中里学区）	コミュニティセンターなかさと	野洲小学校 中主小学校 篠原小学校 祇王小学校 三上小学校 北野小学校	○	野洲市地域 教育協議会
		中主地域子ども教室（兵主学区）	コミュニティセンターひょうず		○	
		篠原地域子ども教室運営協議会	コミュニティセンターしのはら		○	
		ぎおう子ども体験教室	祇王小学校グラウンド 永原御殿跡		○	
		三上楽しいクラブ活動	コミュニティセンターみかみ		○	
		北野っ子フレンドリークラブ	コミュニティセンターきたの		○	
東近江市	5	みなみっこ学習会	南部コミュニティセンター	八日市南小学校		
		放課後子ども教室「まなびい」	市原小学校	市原小学校		
		わくわく夏休み勉強会	五個荘コミュニティセンター	五個荘小学校		
		湖東第二小学校 地域学校協働本部	湖東第二小学校	湖東第二小学校		
		東近江アミーゴ教室	東近江市福祉センター ハートピア	八日市南小学校 箕作小学校 御園小学校 玉緒小学校 玉園中学校		
日野町	5	日野小チャレンジ教室 （日野小てらこや）	日野小学校	日野小学校		
		放課後チャレンジ教室	西大路小学校	西大路小学校		
		書道教室・科学教室・茶道教室	南比都佐公民館	南比都佐学校		
		放課後必佐寺子屋	必佐小学校	必佐小学校		
		桜谷小学校 放課後教室	桜谷小学校	桜谷小学校		
多賀町	1	学びっこタイム	大滝小学校	大滝小学校		

自分の「めあて」をしつかり持って、最後まで学習に取り組める児童の育成

近江八幡市	活動名： 寺子屋 沖島	沖島小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：沖島小学校多目的ホール		開始年度：平成28年度	
年間開催日数：54日（開催ペース：週2日）		地域学校協働活動推進員数：1人（兼務0人）	
平均参加人数：12人		平均スタッフ数：2人	
・活動内容： <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ）			
・教室のもち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
・スタッフの属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要

内容…宿題や自主学習・読書に取り組む。
対象…水曜日は全児童、金曜日は1, 2, 3年生児童

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫

わからないところを中心に学習支援員に聞きながら、国語の漢字ドリルや算数の計算ドリル、計算プリントなどの宿題や復習に取り組んだ。
（学習場所を和室で行うことで密を避けた。）

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

必要に応じて学校の教員が補助教員として指導にあっている。



【 放課後学習の様子 】

■ 事業の成果と課題

- 1年生にとっては、初めての放課後学習だったが、他学年と一緒に学習することで徐々に集中力が高まってきた。少人数のため、密にならず放課後という時間帯を効果的に利用できた。
- 宿題が中心で、予習や復習といった自主的な学習に取り組む姿は少なかった。放課後学習と家庭学習の連動について指導していく必要がある。
- 読書時間を放課後学習活動にも取り入れることで多くの児童が読書に親しむことができた。

報告書記入者（ 教 頭 ）

～新たな発見、新たな学びを～

近江八幡市	活動名： 寺子屋 岡山	岡山小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：岡山小学校		開始年度：平成30年度：	
年間開催日数：18日（開催ペース：月4日程度）		地域学校協働活動推進員数：1人	
平均参加人数：15人		平均スタッフ数：4人	
・活動内容： <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ）			
・教室のもち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
・スタッフの属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要

子どもたちの学習意欲の向上や主体的な学びの習慣の確立を図ることを目的とし、学校の教室を使って水曜日の放課後に30分程度実施した。学習支援員は4名でいずれも元教員である。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

コロナ禍における新しい学校生活にあわせ、3密を回避できる学習環境を設定している。学習支援員が元教員で、それぞれ国語、社会、算数の専門性をもっていることから、宿題等の課題や授業の補習的な内容は行わず、発展的な学習内容を設定し活動した。算数では数の仕組み、位とりの楽しさを味わい、国語では論語などの漢文や古文なども提示し、子どもたちの探求的な学習意識の向上をはかった。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

特になし

■ 事業の成果と課題

発展的な学習内容や中学校や高等学校で学ぶ内容に取り組んだり、紹介したりすることで子どもたちの学習への興味・関心を高めることができた。ただ、学習支援員が毎回教材を工夫し準備しているが、予算が十分でない。



【学習の一場面】

報告書記入者（ 教 頭 ）

安全な放課後、安心な居場所づくりを！

近江八幡市	活動名：寺子屋 金田	金田小学校	学校運営協議会：■有 □無
主な活動場所：金田コミュニティセンター		開始年度：平成29年度	
年間開催日数：10日		地域学校協働活動推進員数：1人	
平均参加人数：18人		平均スタッフ数：5人	
・活動内容：■学習支援 ■体験活動 □芸術・文化 ■スポーツ □その他（ ） ・教室の持ち方：■平日放課後実施 □土曜日実施 □長期休業日実施 □その他（ ） ・スタッフの属性：□企業関係者 □行政職員 □元教職員 ■地域住民 □大学生 □NPO関係者 ■その他			

■ 活動の概要

・4年生の児童（希望者）が放課後コミュニティセンターに集い、学習やスポーツ、体験活動に取り組む。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

- ・市スポーツ推進課と連携し、スポーツ推進員の指導の下、ニュースポーツ「キンボール」に取り組んだ。
- ・主に宿題や、子どもたちの主体的な学習を中心にプログラムを組んだ。
- ・密集を避けた座席の配置や活動部屋を確保した。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

- ・推進員と教頭が内容について相談、協議し連携を図った。
- ・スポーツの際はスポーツ推進員さんとも連携した。

■ 他事業との関わり

- ・特になし

■ 事業の成果と課題

- ・事後のアンケートでは児童も保護者も大満足な様子で、楽しく充実した活動を振り返っていた。
- ・例年参加を希望する児童が多いが、今年度は定員を下回った。参加したい児童が一人でも多く参加できる仕組みづくりが望まれる。



【ニュースポーツ「キンボール」】

報告書記入者（ 教 頭 ）

地域の方とふれあい地域の中で育つ。様々な文化に触れ多様性を感じて育つ。

近江八幡市	活動名：放課後学習「寺小屋安土」	安土小学校	学校運営協議会：■有 □無
主な活動場所：教室			
・活動内容：■学習支援 ■体験活動 ■芸術・文化 □スポーツ □その他（ ） ・教室の持ち方：■平日放課後実施 ■土曜日実施 □長期休業日実施 □その他（ ）：安土コミュニティセンター、安土小学校			
年間開催日数：10日（開催ペース：月3日）		開始年度：平成27年度	
平均参加人数：40人		地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人）	
		平均スタッフ数：6人	
・スタッフの属性：□企業関係者 □行政職員 ■元教職員 ■地域住民 □大学生 □NPO等関係者 □その他			

■ 活動の概要

- ・多文化共生、地域交流活動を基本的な活動目的としている。
- ・教師ではなく、地域のいろいろな方とのふれあいをめざす。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

- ・日本の昔遊びや外国の遊びを体験する。
- ・日本と外国の伝統行事に触れる。
- ・コロナ禍において、密集を避けるためコミュニティセンター体育館で実施した。

■ 事業の成果と課題

- ・退職教員と地域の方が指導者としてかかわっており、子どもたちの接し方には慣れているため、子どもたちも保護者も安心して参加し活動している。
- ・遊びを通して日本や外国の様々な文化に触れることで多様性を当たり前のように受け入れている。それにより、外国籍の保護者や子どもたちも安心して参加している。
- ・放課後学習のこれからの課題は、なんととっても指導して下さるボランティアの方のさらなる人材発掘と人材確保である。



【日本と外国の行事体験】

報告書記入者（ 教 頭 ）

寺子屋老蘇で学習方法を身に付け基礎学力アップ！地域とともに

近江八幡市	活動名：寺子屋老蘇「こども学習教室」	老蘇小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：老蘇小学校 図書室		開始年度：平成30年度	
年間開催日数：12日（開催ペース：週1日 学年別）		地域学校協働活動推進員数：1人（兼務0人）	
平均参加人数：7人		平均スタッフ数：3人	
・活動内容： <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ）			
・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
・スタッフの属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要

- ・基礎学力の定着をめざした学習活動をする。
- ・地域の学生による支援を受け、自主学習や家庭学習の方法を習得する。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫

- ・計算力・漢字力の向上をめざして、毎回はじめに「百ます計算」や漢字の書き取りをする。
- ・決められた学習をするのではなく、各々が目標を決め学習を行う。中には寺子屋を漢字検定を目標に取り組む児童もみられた。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

- ・対象の3・4年生が6時間授業の火曜日に設定し、図書室を活用できるようにした。
- ・放課後児童クラブが校地内にあるので、寺子屋が終われば各自で参加できる。

■ 他事業との関わり

- ・老蘇まちづくり協議会でも、夏季休業期間中に「寺子屋」を全学年対象に実施している。また漢字検定の募集案内にも協力をいただいた。

■ 事業の成果と課題

- 成果・コロナ禍での実施なので、学年別に少人数で学習する機会となり、よい支援を受けられた。
- ・支援員や教職員など、ひとりに関わる大人が多いので、疑問をもったときにすぐ解決できる環境がある。
- 課題・下校時刻が遅くなるので、保護者の迎えを必須条件としたため、保護者の都合で参加できない児童がいる。

報告書記入者（ 教 頭 ）



【 寺子屋老蘇 】

学びのセーフティネット ～学習習慣の定着を目指して～

草津市	活動名：放課後自習広場	笠縫小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：		開始年度：平成30年度	
年間開催日数：35日（開催ペース：週2日）		地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人）	
平均参加人数：12人		平均スタッフ数：2～3人	
・活動内容： <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ）			
・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
・スタッフの属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要

- ・1～3年生の参加児童が指定曜日の放課後に集まり、宿題や自主学習に取り組む。
- ・自学自習を行うことで、児童の学習習慣の定着を図る。
- ・課業時間に学習したことを反復することで学習意欲を高め、家庭学習へとつなぐ。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

- ・校内の教室で実施し、終了時刻を高学年の下校時刻に合わせることで、安全に過ごして下校できるようにしている。
- ・学年ごとに学習する部屋を分け、支援員の見守りのもと、集中して学習できる環境を整えている。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

- ・支援員が児童の家庭と参加に関する連絡を取り合ったり、準備を行ったりしている。
- ・児童クラブとの連携を図り、児童を安全に引き渡せる体制を整えている。

■ 他事業との関わり

- ・特になし

■ 事業の成果と課題

- ・参加している児童は、一定時間主体的に学習したり、質問したりする習慣ができてきた。
- ・参加または不参加について連絡がとれない家庭への対応が難しい。

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

「自分に必要な学習に、自分で取り組む」～学習習慣の定着をめざして～

草津市	活動名：放課後子ども教室	志津小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
主な活動場所：志津小学校 多目的室		開始年度：令和3年度
年間開催日数：21日（開催ペース：週3日）		地域学校協働活動推進員数：3人（兼務3人）
平均参加人数：15人		平均スタッフ数：3人
・活動内容： <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
・スタッフの属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input checked="" type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要

放課後の時間を活用し、宿題・今日の復習・持参した課題等に取り組み、学習習慣を身につけることを目的とした草津市教育委員会主催の事業。対象は、事前申込みの後、参加することができることになった小学1年生から3年生までの児童。小学校の1教室を使用し、支援員の見守りの中、自学自習に取り組む。



【 学習風景 】

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

自学自習を基本とし、学習習慣の定着をねらいとする事業なので、児童は、学習内容を事前に考え、準備して当日、教室に集まってくる。支援員は、あくまで見守り。児童の学習ができるだけスムーズに進むよう、声をかけている。支援員は、地域コーディネーターが軸となり運営。出欠確認や下校方法等、丁寧に確かめ、児童が安心して学習できるよう支援している。

新型コロナウイルス感染症の感染および感染拡大防止対応として、開始前には支援員が会場の整備・消毒等を済ませ、児童を迎えている。また、学習中、共有物の使用を避け、自分で持ってきたものを自分が使って、自分で片付ける形を定着させている。さらに、グループ活動を行わず、自学自習に徹している。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

朝、登校したら、職員室前のボックスに出欠カードを児童が提出する。支援員が確認し、スムーズな運営につなげている。支援員の中には、教室アシスタント等、学校教育活動をサポートする者や児童育成クラブの支援員を兼ねている者がおり、安心できる関係性の中、児童へ支援を行っている。また、放課後子ども教室終了後、保護者迎えの児童や兄弟姉妹とともに下校する児童、児童育成クラブへ移動する児童等がおり、安全確保に配慮した連携を図っている。

■ 他事業との関わり

草津市教育委員会事務局児童生徒支援課「放課後自習広場」として平成28年度より事業実績を積み重ね、令和3年度「放課後子ども教室」として開設。

■ 事業の成果と課題

参加児童は自学自習を積み重ねることができている。また、普段から学校での学習・生活を支援する教室アシスタントや児童育成クラブの支援員、地域コーディネーターが児童に関わり、安心できる環境のもと、学習習慣の定着と放課後の子どもの居場所づくりに寄与している。

ただ、本年度、申込児童は定員内で、「放課後子ども教室」を実施することができているが、定員を超えた場合、ニーズがあるものの支援につなげられないこととなる。また、本校は児童数1,000人を超える大規模校であるため、学級数も多く、教室不足が大きな課題の一つとなっている。そのため、空き教室を有効活用する「放課後子ども教室」であるが、空き教室が存在せず、実施のためには、学校教育として使用している教室をあてがう必要がある。

報告書記入者（放課後自習広場担当教職員）

放課後のあそびば葉山東ふれあい子ども広場

栗東市	活動名：葉山東ふれあい子ども広場	葉山東小学校 学校運営協議会：□有 ■無
主な活動場所：葉山東小学校体育館、コミュニティセンター葉山東 年間開催日数：約30日（開催ペース：週1日） 平均参加人数：32人		開始年度：平成17年度 地域学校協働活動推進員数：12人（兼務3人） 平均スタッフ数：12人
・活動内容：□学習支援 □体験活動 ■芸術・文化 ■スポーツ □その他（ ） ・教室の持ち方：■平日放課後実施 □土曜日実施 □長期休業日実施 □その他（ ） ・スタッフの属性：□企業関係者 □行政職員 □元教職員 ■地域住民 □大学生 □NPO等関係者 □その他		

■ 活動の概要

毎週水曜の放課後（～16:30まで）、葉山東小学校体育館で〔軽スポーツ（ボール遊び等）〕、コミセン葉山東で〔将棋〕〔クラフト（工作・塗り絵など）〕を実施している。また、年に3回、全員でお楽しみ会を実施している。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

スタッフが季節やその場の状況に応じた遊びや作品づくり等の指導を実施している。コロナ対策：例年より募集人数を縮小し、集合時の手指消毒・体温計測や、換気をしながら活動している。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

特になし

■ 他事業との関わり

特になし

■ 事業の成果と課題

成果：各教室での活動を通して様々な遊びの体験や文化に触れ、地域住民・他学年ともふれあえる良い交流の場となっている。
 課題：スタッフの人員確保（待遇の面でお願いしづらい）が課題となっている。

保護者からは「17:00頃まで実施してほしい」との声があるが、待遇の面もあり、スタッフの方をお願いしづらい状況である。



【お楽しみ会でのニュースポーツ体験】

報告書記入者（葉山東学区地域教育協議会 事務局）

地域と学校が連携しなかもづくりと人権意識を高めるのびのび広場

栗東市	活動名：治田西のびのび広場	治田西小学校 学校運営協議会：□有 ■無
主な活動場所：治田西小学校 年間開催日数：19日（開催ペース：月1～2日） 平均参加人数：19人		開始年度：平成21年度： 地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人） 平均スタッフ数：8人
・活動内容：□学習支援 ■体験活動 ■芸術・文化 ■スポーツ ■その他（平和学習など） ・教室の持ち方：■平日放課後実施 □土曜日実施 □長期休業日実施 □その他（ ） ・スタッフの属性：□企業関係者 □行政職員 □元教職員 ■地域住民 □大学生 □NPO等関係者 ■その他		

■ 活動の概要

・地域と学校が連携し、互いに助け合い、励まし合う活動を通して、人権意識を高め差別をなくしていこうとする態度の育成や連帯意識の高揚を図り、地域でのなかもづくりを進めてきた。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

・人権学習、集団遊び、創作活動、平和学習、スポーツ活動など毎回内容を変えながら様々なジャンルの体験活動を行った。
 ・人権学習の一環として、地域のふれあい文化祭でステージ発表を行っていたが、中止になったため、作品展示で参加をした。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

・学校教員も参画して、地域のボランティアの方とともに活動を運営。

■ 他事業との関わり

・地域のグランドゴルフクラブとの連携、滋賀県国際協会や滋賀県立聴覚障害者センターの方の講話。

■ 事業の成果と課題

・参加希望人数は20人である。軽スポーツや創作活動、人権学習など様々な体験活動を通じて、子どもたちは楽しく過ごす中で、異学年同士の子どもの交流もでき、仲間意識が少しずつ育ちつつある。サポーターとして事業に関わっていただいている地域の方々や、地域の様々な団体の方々と一緒に活動することにより、地域の方々子どもたちとの交流を深めることができた。スタッフの高齢化、スタッフの不足が課題になっている。



【地域の方とのグランドゴルフ】

報告書記入者（教諭）

体験は心と体の栄養だ！さあ元気になろう！

野洲市	活動名：中主地域子ども教室（中里学区）	中主小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：コミュニティセンターなかさと 年間開催日数：18日 平均参加人数：10人		開始年度：平成18年度： 地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人） 平均スタッフ数：2人
・活動内容： <input type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ） ・教室の持ち方： <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input checked="" type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・スタッフの属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要

茶道クラブ、手芸クラブ、各月1回、年間9回を小学生以上対象で行っている。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫

【茶道クラブ】子ども達に12月だけクリスマスにちなんで、お茶菓子をケーキにしている。

【手芸クラブ】子どもに合わせて、教材を選び、各々小さくても作品作りの達成感や喜びを味わってもらうようにしている。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

小学校を通じてチラシ（申込用紙）を配布している。

■ 他事業との関わり

学校行事と子ども教室事業の日程調整を行い、参加しやすい環境づくりに努めている。

■ 事業の成果と課題

〔課題〕子ども達の習熟度にバラツキがあるので、少数の指導者で教えるのが難しい。

・子どもたちの集中力を持続させる工夫が必要である。

〔成果〕集中力の持続性や達成感を得られ、そのことが学習意欲の高揚に結び付く一助となっていると考えられる。



【 茶道クラブの様子 】

報告書記入者（中主地域子ども教室運営協議会事務局／中里学区）

仲良く楽しくみんなでチャレンジ！心豊かな中主っ子

野洲市	活動名：中主地域子ども教室（兵主学区）	中主小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：コミュニティセンターひょうず 年間開催日数：10日（開催ペース：月1日） 平均参加人数：10人		開始年度：平成18年度： 地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人） 平均スタッフ数：2人
・活動内容： <input type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ） ・教室の持ち方： <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input checked="" type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・スタッフの属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input checked="" type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要

コミュニティセンター職員が計画、準備をし、主に土曜日に事業を実施している。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業の中止、延期を強いられたが後半期から回数や人数を減らし、検温、換気、消毒等に配慮しつつ活動している。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

小学校の行事と重ならないように連携をとり学校を通じてチラシを配布している。

■ 他事業との関わり

毎年、コミュニティセンター主催の収穫祭において、茶道クラブの生徒にお抹茶コーナーを担当してもらったり、生け花教室の生け花を展示しているが、今年も中止となった。

■ 事業の成果と課題

月に1回程度の少ない時間ではあるが、子どもたちには技術の上達と共に仲間を思いやる心や協調性が養われているように思われる。またのびのびと安らげる居場所作りにもなっているようである。



【 茶道クラブ 】

報告書記入者（中主地域子ども教室事務局／兵主学区）

自然に触れ、人に触れ、さまざまな体験を通して健やかな成長を育む

野洲市	活動名：篠原地域子ども教室運営協議会	篠原小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：コミュニティセンターしのはら 年間開催日数：27日（開催ペース：週・月2日） 平均参加人数：9人		開始年度：平成17年度： 地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人） 平均スタッフ数：2人
・活動内容： <input type="checkbox"/> 学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ） ・教室のもち方： <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input checked="" type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他（日曜日） ・スタッフの属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要

子どもたちに様々な体験をもらい、集中力アップや仲間作りの一助になるよう居場所作りをする。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

料理教室が開催できないので、代わりに食品サンプル作り教室を開催した。

申し込みが多かったため、同じ教室を2回開催した。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

学校を通じて事業募集のチラシを配って頂いた。

■ 他事業との関わり

文化祭にフラワーアレンジ教室、手編み教室、食品サンプル作り教室に参加の児童の作品を展示した。

■ 事業の成果と課題

コロナ禍の中で感染対策を講じながら出来る教室を開催した。習熟度が異なることを踏まえ、時間別で開催した。新しい教室にも取り組んだ。

児童数の少ない中で、子どもたちの参加を促す教室の開催を考える事が課題である。



【食品サンプル作り】

報告書記入者（篠原地域子ども教室運営協議会事務局）

いろんなことにチャレンジしよう!! 「ぎおう子ども体験教室」

野洲市	活動名：ぎおう子ども体験教室	祇王小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：祇王小学校グラウンド・永原御殿跡 年間開催日数：2日 平均参加人数：20人		開始年度：平成17年度 地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人） 平均スタッフ数：8人
・活動内容： <input type="checkbox"/> 学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input type="checkbox"/> 芸術・文化 <input checked="" type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ） ・教室のもち方： <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他（毎週土日） ・スタッフの属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input checked="" type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要

・今年度は、定期開催にサッカークラブと永原御殿跡発掘体験を企画した。

残念ながらサッカークラブは参加者なし。永原御殿跡発掘体験は、まん延防止等重点措置により発掘体験前の事前説明会しか開催出来なかった。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

・体調の確認と体温チェック、マスクの着用を徹底し、密にならないよう密にならないように参加日を複数日設けた。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

・学校や地域と、企画や募集を連携している。

■ 他事業との関わり

・なるべく多くの子どもたちに参加してもらえよう日程・内容を調整の調整をしている。

■ 事業の成果と課題

・地域の人と交流することで、子どもたち自ら地域の大切さを学んでくれている。



【永原御殿跡発掘体験事前説明会】

報告書記入者（コミュニティセンターぎおう事務局）

好きなことを見つけよう。 仲間と一緒に楽しもう。

野洲市	活動名：三上楽しいクラブ活動	三上小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：コミュニティセンターみかみ 年間開催日数：28日（開催ペース：月1日） 平均参加人数：6人（2人～13人）		開始年度：平成14年度 地域学校協働活動推進員数：3人（兼務0人） 平均スタッフ数：1人
・活動内容： <input type="checkbox"/> 学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ） ・教室のもち方： <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input checked="" type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・スタッフの属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input checked="" type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要

生け花、将棋、フラメンコをそれぞれ月1回土曜日に行っている。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

昨年と同様、活動時に体調チェックシートの提出、対面する将棋はアクリル板を設置

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

コロナ禍における学校活動の仕方をお聞きし、それに準じた活動を行うようにした。

■ 他事業との関わり

今年度もセンターで11月に開催する悠紀まつりに生け花を展示、地域の方や親御さんたちに見ていただく機会を作っている。

■ 事業の成果と課題

飲食を伴う活動は昨年と同様自粛せざるを得なかったものの昨年度の経験を活かし今年度は5月からスタートすることができた。参加人数は少ないが出席率は高いので、必要とする子どもたちへの居場所づくりとしての機能は果たしていると思われる。コロナがおさまった後に参加者数に戻るのか、茶道、クッキング（飲食を伴う）が従来通りの活動がいつからできるのか課題。



【 生け花 】

報告書記入者（三上地域教育推進委員会事務局）

いろんな活動を通じてみんなと触れ合う「北野っ子フレンドリークラブ」

野洲市	活動名：北野っ子フレンドリークラブ	北野小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：コミュニティセンターきたの 年間開催日数：20日 平均参加人数：25人		開始年度：平成8年度 地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人） 平均スタッフ数：4人
・活動内容： <input type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 芸術・文化 <input checked="" type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ） ・教室のもち方： <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input checked="" type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・スタッフの属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要

青少年育成会が中心となり、土曜日に2時間各種活動を行っている。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

マスク着用、体調確認、体温チェック等を徹底し、密を避けるため可能な限り大ホールや研修室など大きな部屋で実施した。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

小学校を通じてチラシを配布し、卓球教室等の屋内スポーツは小学校の体育館を利用している。

■ 他事業との関わり

コミセンきたの夏まつりで作品展示等を行っている。

■ 事業の成果と課題

地域の指導者と交流する中で、多くの子どもたちが成長している。ただ、指導者やスタッフの確保に苦慮している。



【 将棋教室 】

報告書記入者（コミュニティセンターきたの事務局）

わかった!できた!～地域の人々と学ぶ学習会～

東近江市	みなみっこ学習会	八日市南小学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：南部コミュニティセンター		開始年度：平成26年度：年間開催日数：8日	
(夏休み)開催日数：4日 平均参加人数：16人 平均スタッフ数：10人			
(冬休み)開催日数：2日 平均参加人数：16人 平均スタッフ数：12人			
(春休み)開催日数：2日 平均参加人数：16人 平均スタッフ数：12人			
・活動内容： <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他()			
・教室のもち方： <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他()			
・スタッフの属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input checked="" type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要

休業中の宿題などの支援を通じて、学習習慣を身につける。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

コロナ前は、2時間学習をし、学習後に低学年はカルタ、高学年は百人一首を実施していたが、コロナ対策のため学習のみにし、コミセン全室を貸し切りにして子ども達の間隔をあけ学習した。地域ボランティア、高校生ボランティアには、保護者の了承を得て参加してもらった。ボランティアの方にはフェイスシールドをつけ、体温や体調の確認を行った。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

学校から教職員が訪問したことで、児童のやる気があがっているように思う。参加児童の担任から引き継ぎをうけ、その子に応じた対応を行った。

■ 他事業との関わり

南部まちづくり協議会と一緒に活動をしている。ボランティアの募集だけでなく参加児童のおやつ代や学生ボランティアへの謝礼など金銭的な補助もしてもらった。

■ 事業の成果と課題

子ども達の学習支援の受け皿として、地域児童の見守りを行えた。

コロナ禍の状況下で、学習会を実施できる日数の変更などもあったが、コロナが少し落ち着いてきたので学習会を行うことができた。

学習会が必要な児童への声かけを、一番理解している担任にお願いしてみることも必要なのではと思う。



【 学習会の様子 】

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

地域で学び、地域で育つ「市原っ子」の明るく楽しい共同学習の場

東近江市	放課後子ども教室「まなびい」	市原小学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：		開始年度：平成25年度：	
年間開催日数：13日（開催ペース：月1日）		地域学校協働活動推進員数：2人	
平均参加人数：30人		平均スタッフ数：4人	
・活動内容： <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input checked="" type="checkbox"/> その他（コンピュータを活用した自主学习eライブラリ、初めてのプログラミング）			
・教室のもち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他()			
・スタッフの属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要

- ・1年生～3年生は前半16:00～17:00 保護者送迎
- ・4年生～6年生は後半17:00～18:00 保護者送迎
- ・30分間は図書室で自学・共同学習、30分はコンピュータ室で「eライブラリ」または上学年は「プログラミング」学習

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

- ・『まなびい ふりかえりカード』に「今日のめあて」を記入して学習に取り組む。
- ・終了時点、児童は「まなびいふりかえりカード」に成果などを記入している。
- ・児童が主体であることを決めている。支援者は必要な時に寄り添うのみ。
- ・eライブラリでの学習を個々に積み上げている。
- ・令和2年度から「初めてのプログラミング」を上学年で行っている。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

- ・要請はしていない。一般教員は適宜自由に児童の様子を見に来る形。
- ・管理職や事務職員がPCの準備、受付を手伝い、後始末、施錠などの管理は管理職・事務職員。

■ 事業の成果と課題

- ・「まなびい」の日を楽しみにして参加申し込みを継続している。リピーターが多い。
- ・送迎ができてにくい保護者の参加希望をどうするかが課題。小草の根ハウス等での開催を望まれているが人材不足である。
- ・児童は「小学校（図書室・コンピュータ室）は学びの場」と認識しているので、主体的に学習を行っている。
- ・担当している人への挨拶、靴を並べて脱ぐなどのマナーが育ってきた。



【まなびい：低学年eライブラリ】

報告書記入者（ 市原小学校地域学校協働本部長 ）

みんなでがんばる、楽しいわくわく「夏休み勉強会」

東近江市	活動名：わくわく夏休み勉強会	五個荘小学校 学校運営協議会：■有 □無
主な活動場所：五個荘コミュニティセンター		開始年度：令和3年度
年間開催日数：3日（開催ペース：不定期）		地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人）
平均参加人数：15人		平均スタッフ数：7人
・活動内容：■学習支援 ■体験活動 ■芸術・文化 □スポーツ ■その他（レクリエーション） ・教室のもち方：□平日放課後実施 □土曜日実施 ■長期休業日実施（夏休み） ・スタッフの属性：□企業関係者 □行政職員 ■元教職員 ■地域住民 ■大学生 □NPO等関係者 ■その他		

■ 活動の概要

子どもたちの学習の場や地域の大人と子どもとの交流の場をつくり出すことを目的として、今年初めて試みた。五個荘地区内在住・在学の小学校3年生から6年生を対象に定員15名を募集した。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

- ・高校生や大学生によるレクリエーション、塾講師や元教師による辞書の引き方（英語等）の内容を取り入れ、定期的に休憩を入れながらスケジュールを立てた。
- ・コロナ対策については、広い部屋で実施し、密にならないように長机1台につき一人が座るようにした。
- ・早く課題が終わった子どもには、読書や折り紙などを用意して、静かに過ごすことができるように工夫した。



【 静かに課題に取り組む子どもたち 】

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

学校とコミュニティセンターが連携し、各学年のドリルを学習教材として準備した。

■ 事業の成果と課題

- ・地域の方々とも子どもたちとの交流ができた。欠席する子どももなく計画通り実施できてよかった。
- ・課題を採点する際に解答を手元に置いて〇つけまでできたほうが良かった。
- ・実施前に学校の職員と地域の方々とは打合せを行い、期間中に1日でも学校職員が協力できると、さらに子どもたちへの指導がスムーズに行くように思う。
- ・来年度に向けて、他の地域で同じような活動をされている団体との交流もしていきたい。

報告書記入者（ 教務 ）

夏休み宿題教室

東近江市	湖東第二小学校 地域学校協働本部	湖東第二小学校 学校運営協議会：□有 ■無
主な活動場所：教室		開始年度：平成20年度
年間開催日数：3日（開催ペース：週3日）		地域学校協働活動推進員数：1人
平均参加人数：20人		平均スタッフ数：9人
・活動内容：■学習支援 □体験活動 □芸術・文化 □スポーツ □その他（ ） ・教室のもち方：□平日放課後実施 □土曜日実施 ■長期休業日実施 □その他（ ） ・スタッフの属性：□企業関係者 □行政職員 □元教職員 ■地域住民 □大学生 □NPO等関係者 □その他		

■ 活動の概要

長期休業中の学習支援

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

地域の方の協力を得て、学習支援を行う。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

担任や関係職員もできるだけ参加し、学習支援を行う。

■ 他事業との関わり

特になし

■ 事業の成果と課題

長期休業中の学習課題など、子どもたちの学習を支援していただき、学習意欲の高まりにつながっており、子どもたちも満足感を感じている。



【 夏休み宿題教室 】

報告書記入者（ 教頭 ）

「地域に根つき育つ子」の育成

東近江市	活動名：東近江アミーゴ教室	東近江市地域学校協働本部 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所： 年間開催日数：36日（開催ペース：毎週土曜日） 平均参加人数：10人 ・活動内容： <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ） ・教室の持ち方： <input type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input checked="" type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・スタッフの属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		開始年度：平成23年度： 地域学校協働活動推進員数：1人（統括CO） 平均スタッフ数：7人

■ 活動の概要

・毎週土曜日、午後2時から午後4時

・国語、算数、社会等の学習支援及び日本語の習得

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

・参加者それぞれの課題に応じた個別教科学習の実施

・かるた等を活用して日本語習得

・低学年対象に漢字カードやひらがなカードなどを使っての指導

・マスク着用はもとより手指の消毒や机の消毒を実施

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

・学校からの宿題などの支援

■ 他事業との関わり

・更生保護女性会との交流会を開催

■ 事業の成果と課題

・個々の課題に応じた学習支援を実施することで課題克服及び日本語習得の成果が感じられる。

・参加者のつながりが生まれ、よき子供たちの居場所となっている。



【 交流会の様子 】

報告書記入者（ 統括コーディネーター ）

“わかる・できる・楽しい”を実感する子どもの育成を目指す「日野小てらこや」

日野町	活動名：日野小チャレンジ教室 (日野小てらこや)	日野小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：少人数教室 年間開催日数：45日（開催ペース：週3日） 平均参加人数：15人 ・活動内容： <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ） ・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・スタッフの属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		開始年度：平成29年度： 地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人） 平均スタッフ数：4人

■ 活動の概要

今年度は7月から開始した。算数について、学習の土台となる計算等の復習のための補充プリントに取り組んだ。夏季休業期間中は夏休みの宿題教室を開催した。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

補充プリントを多数用意し、児童の実態に合わせて取り組めるよう工夫した。参加児童数を少数とし、個別指導が充実できるようにすることや、隣との間隔を十分確保して感染予防にも配慮した。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

学校から、対象学年全員にチャレンジ教室への参加の文書で呼びかけをした。個別懇談時には、担任からも保護者に声かけをして学力補充の機会として周知をした。

■ 他事業との関わり

特になし

■ 事業の成果と課題

（成果）少人数指導で、毎回、集中して学習に取り組む児童の姿が見られた。学習問題に児童がつまづいている姿を素早く指導員がつかみ、個別指導を行い、「わかった。」「次はできる。」とつぶやき、自信を高める姿が見られた。

（課題）今年度は4年生以上を対象に事業を行なった。対象学年を拡大してほしいとの声が保護者からもあり、実施方法、回数、参加方法を検討していく必要がある。



【 集中して学習する児童の様子 】

報告書記入者（ 教頭 ）

苦手を克服！ ゆっくりじっくり学べる放課後チャレンジ教室

日野町	活動名：放課後チャレンジ教室	西大路小学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：図書室・2年教室		開始年度：平成29年度：	
年間開催日数：21日（開催ペース：週1～2日）		地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人）	
平均参加人数：6人		平均スタッフ数：2人	
・活動内容： <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ）			
・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
・スタッフの属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input checked="" type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要

学習に支援が必要な児童（2年～6年対象）を中心に、放課後、学校が用意した算数プリントを行う。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

過去の反省を踏まえ、また、コロナ感染拡大予兆の観点からも今年度も少人数での学習スタイルをとることとした。参加児童が、低学年の算数プリントから取り組むことで、それぞれが自分の苦手を理解し復習を行うことができた。

個別指導をしているため、スタッフも児童の苦手としている単元がわかり、担任とも連携しながら個に応じた算数プリントを次回までに用意することができた。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

スタッフが担任に、個々の児童が苦手とする単元を聞き、個に応じた指導に生かした。

■ 他事業との関わり

なし

■ 事業の成果と課題

<成果> 少人数での学習なので、個々の学習のつまずきがわかり、個々に応じた学習を行うことができた。

<課題> 大学生を中心としたスタッフのためか、集中してプリントに取り組みにくい児童がいた。



【 苦手な文章問題に取り組む児童 】

報告書記入者（ 教 頭 ）

「なんぴが大好き」 ～地域の学び場づくり～

日野町	活動名：書道教室・科学教室・茶道教室	南比都佐小学校	学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：南比都佐公民館		開始年度：平成29年度：	
年間開催日数：約60日（開催ペース：月2書道・茶道 月1科学）		地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人）	
平均参加人数：24人（書道教室） 7人（茶道教室） 5人（科学教室）		平均スタッフ数：2人（書道・茶道） 1人（科学）	
・活動内容： <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ）			
・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input checked="" type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
・スタッフの属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> 元教職員 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他			

■ 活動の概要

- ・硬筆・毛筆の書き方の基礎を習得する。（書道教室）
- ・様々な実験を通して、科学の楽しさを味わう。（科学教室）
- ・茶席の基本作法を学ぶ。（茶道教室）

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

- ・毎月の作品を公民館のロビーに常時展示し、文化祭にも展示している。
- ・マスクの着用、玄関での検温と手指消毒に加え、密にならないよう広いホールで実施している。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

- ・書道教室の講師が学校での書写指導支援に関わってくださっている。初めての毛筆指導や書初めの指導の支援をしていただいた。

■ 他事業との関わり

- ・地域の文化祭に作品を出品している。

■ 事業の成果と課題

- ・多くの児童が参加しており、地域の良き学びの場として定着している。



【 科学教室 】

報告書記入者（ 教 頭 ）

「分かった」「できた」を増やし、子どもたちの学習意欲を引き出す

日野町	活動名：放課後必佐寺子屋	必佐小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：学習室 年間開催日数：53日（開催ペース：週1日） 平均参加人数：7人		開始年度：平成29年度 地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人） 平均スタッフ数：3人
・活動内容： <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ） ・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・スタッフの属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要

- ・3～5年生児童を対象とした補充学習に実施

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

- ・教科は算数、対象学年を3～5年生に限定する。
- ・四則計算を中心に授業内容の理解の不十分な部分の補充を行う。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

- ・参加児童は授業終了後、下校せずに放課後15：35～16：20に学習室で学習する。
- ・下校は保護者の迎えを基本とする。

■ 他事業との関わり

特になし

■ 事業の成果と課題

- ・履修内容の習得が不十分であった児童の学力向上につながり、日常の授業に意欲的に取り組める児童が増えた。
- ・参加児童を増やしたいが、十分な指導体制を組めないため、必要と思われるすべての児童の参加は難しい。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大のため、緊急事態宣言下では中止にしたこともあり、行事の変更等の影響で当初の計画通りに進められなかった。



【個々のつまずきに応じて指導】

報告書記入者（ 教 頭 ）

理解に応じてチャレンジ！「わかった！」「できた！」～放課後学習～

日野町	活動名：桜谷小学校 放課後教室	桜谷小学校 学校運営協議会： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
主な活動場所：教室 年間開催日数：15日（開催ペース：月2日） 平均参加人数：26人		開始年度：平成29年度： 地域学校協働活動推進員数：1人（兼務1人） 平均スタッフ数：4人
・活動内容： <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input type="checkbox"/> 芸術・文化 <input type="checkbox"/> スポーツ <input type="checkbox"/> その他（ ） ・教室の持ち方： <input checked="" type="checkbox"/> 平日放課後実施 <input type="checkbox"/> 土曜日実施 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業日実施 <input type="checkbox"/> その他（ ） ・スタッフの属性： <input type="checkbox"/> 企業関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> 元教職員 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> NPO等関係者 <input type="checkbox"/> その他		

■ 活動の概要 木曜日 1, 2年 14:45～15:30 3～6年 15:30～16:15

校内の少人数教室で算数学習を進めている。

■ 特徴的な活動内容や実施にあたっての工夫（コロナ禍における工夫・対応等）

- ・参加の希望者を募るが、放課後の時間帯であるので、下校の仕方が前もってわかるように連絡カードを作る。カードの項目は、学童へ行く、バスで帰る、お迎えで帰るなどを記入できるようにしておく。
- ・学習したプリントは、各自のファイルにとじ、学習の成果を残していく。
- ・旧のコンピュータ室とデスクを利用し、一人一人が広いスペースを確保することと、1, 2年生と3～6年の入れ替え時には、消毒・換気を徹底している。

■ 学校や放課後児童クラブとの関わり・連携

- ・出席カードを作り、参加する日を学習日の月曜には確認する。希望による参加が中心ではあるが、欠席などで補習が必要と思われる子どもには、担任から声もかける。学童に行く子どもは、この学習を終えてから学童に向かう。

■ 事業の成果と課題

本年度も、保護者・児童から要望があり、基礎コースと、発展コースに分けて開催した。成果として、基礎コース受講児童からは、「わかりにくかったところがわかるようになった。」発展コース受講児童からは、「難しいけれど、おもしろくてやりがいがある。」という声があった。課題としては、基礎・発展のどちらのコースに向いているのか把握しきれないまま受講したために、十分に力を発揮しきれていない児童もあった。コース選択の前に十分な説明やオリエンテーリング等が必要であると考えられる。



【少人数教室での放課後学習】

報告書記入者（ 教 頭 ）

放課後児童クラブの現状

令和3年5月1日現在

1 放課後児童クラブ数実施状況

(1) 小学校の状況

小学校区数	220 箇所	児童数	79,629 人
小学校1～3年生の総数	39,070 人	*4～6年	40,559 人

(2) 放課後児童クラブの概況

設置・運営主体別クラブ数	公立公営	公立民営	民立民営	合計
	75	160	98	333

(3) 放課後児童クラブの状況

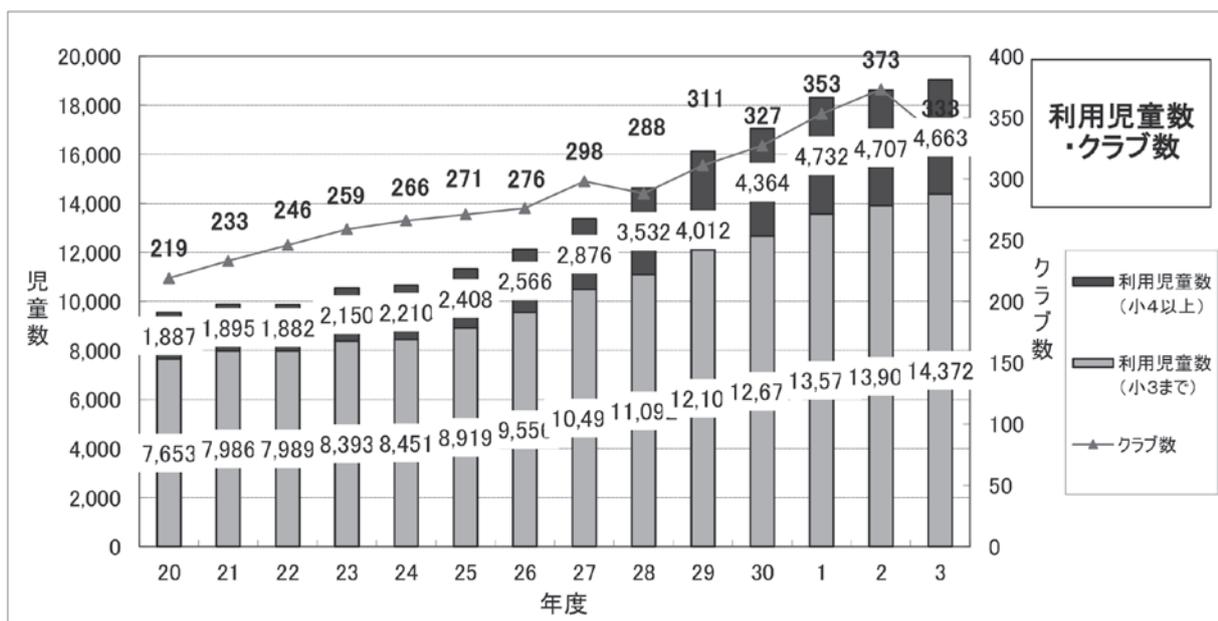
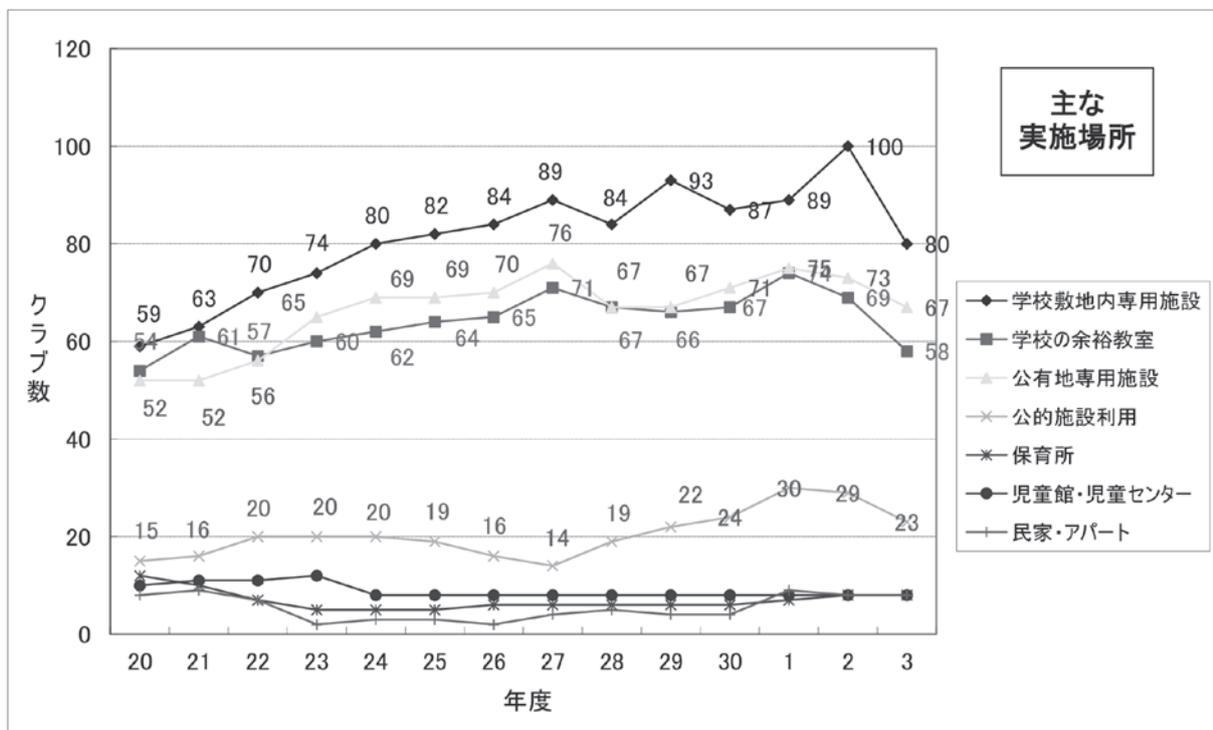
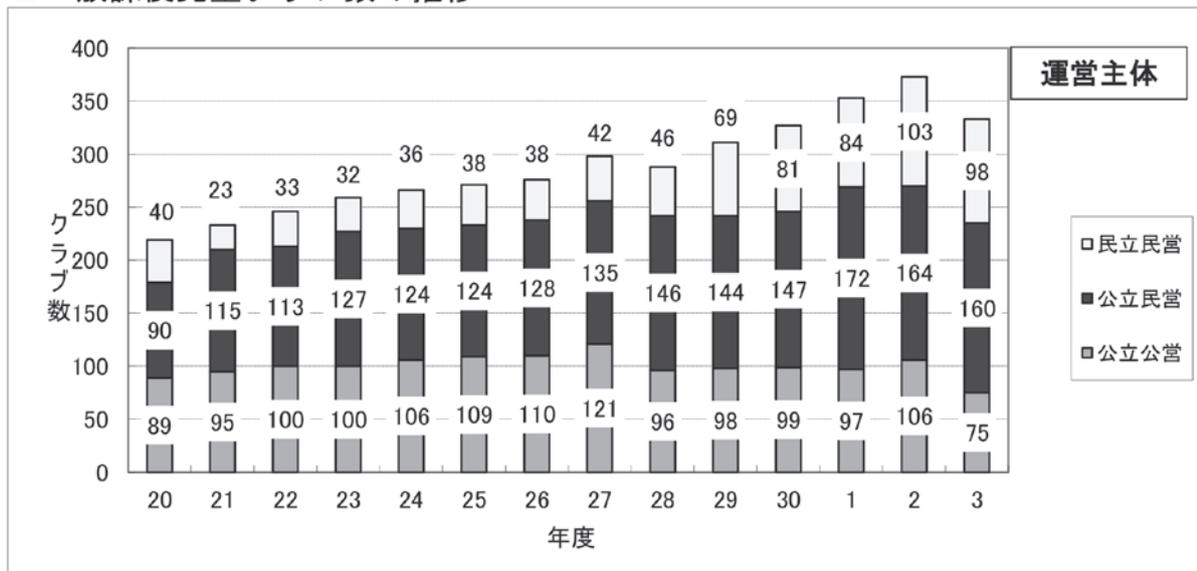
調査項目		公立公営	公立民営	民立民営	合計
実施場所別 放課後児童 クラブ数	児童館・児童センター	1	2	5	8
	学校の余裕教室	35	23	0	58
	学校敷地内専用施設	22	58	0	80
	公有地専用施設	14	53	0	67
	民有地専用施設	2	1	22	25
	民家・アパート	0	0	8	8
	公的施設利用	1	12	10	23
	団地集会室	0	1	0	1
	保育所	0	1	7	8
	幼稚園	0	0	0	0
	認定こども園	0	0	0	0
	空き店舗	0	2	44	46
	その他	0	7	2	9
	合計	75	160	98	333
登録児童数別 放課後児童 クラブ数	10人以下	0	0	6	6
	11人～20人	2	2	10	20
	21人～30人	14	46	40	58
	31人～70人	19	73	35	163
	71人以上	40	39	7	86
	合計	75	160	98	333
障害児受入数別 放課後児童 クラブ数	受入なし	8	14	37	59
	1人	14	22	24	60
	2人	7	24	17	48
	3人	9	28	6	43
	4人以上	37	72	14	123
	合計	75	160	98	333
平日の終了時刻別 放課後児童 クラブ数	17:01～17:30	0	0	0	0
	17:31～18:00	16	0	0	16
	18:01～18:30	20	40	10	70
	18:31～19:00	39	112	45	196
	19:01～20:00	0	8	42	50
	20:01～21:00	0	0	1	1
	21:01～22:00	0	0	0	0
	合計	75	160	98	333
休日の開館状況別 放課後児童 クラブ数	土曜日(毎週実施以外)	55 (5)	51 (74)	61 (35)	167 (114)
	日曜・祝日	0	26	4	30
	長期休暇	75	154	97	326
学年別児童数	小学校1年生(障害児)	1,773 (112)	2,550 (147)	1,062 (33)	5,385 (292)
	小学校2年生(障害児)	1,689 (82)	2,350 (162)	966 (49)	5,005 (293)
	小学校3年生(障害児)	1,234 (63)	1,926 (145)	822 (38)	3,982 (246)
	小学校4年生(障害児)	804 (27)	1,207 (98)	516 (16)	2,527 (141)
	小学校5年生(障害児)	408 (18)	770 (75)	291 (20)	1,469 (113)
	小学校6年生(障害児)	151 (12)	388 (40)	128 (4)	667 (56)
	その他(障害児)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	合計(障害児)	6,059 (314)	9,191 (667)	3,785 (160)	19,035 (1,141)
学年別利用(登録) できなかった児童数	小学校1年生(障害児)				9 (0)
	小学校2年生(障害児)				3 (0)
	小学校3年生(障害児)				7 (0)
	小学校4年生(障害児)				5 (0)
	小学校5年生(障害児)				9 (0)
	小学校6年生(障害児)				24 (4)
	合計(障害児)				57 (4)

注：()内の数は、再掲である。

(4) 市区町村の実施状況

全市区町村数 A	実施率 (B/A)	実施市区町村			合計 B
		市(特別区)	町	村	
19	100%	13	6	0	19

2 放課後児童クラブ数の推移



V 放課後子ども教室の実践事例